

九州地域戦略会議 「九州が目指す姿、将来ビジョン」の概要について

2009.7.13

道州制協議会委員 芦塚日出美

(九州経済同友会・九州はひとつ委員会委員長)

1. 九州が目指す姿、将来ビジョンの位置づけ

- 世界同時不況下だからこそ、地域の実情を最もよく知る地方が、その地域の目指す姿・ビジョンを描き、将来の自立的成長を高める戦略性の高い施策を打ち出していく。
- 九州7県の知事と経済4団体のトップが同じテーブルに着いて議論し合意。
- 策定作業は、各県部長・市長・経営者等をメンバーとする第2次道州制検討委員会の下に、専門家による作業チームを置いて検討。
- 道州制の「九州モデル」における位置づけ

- (1)道州制の「九州モデル」…… (H20.10 公表)
- ・国、道州、市町村の具体的役割分担
 - ・役割分担のケーススタディ(道州制の12のメリット)
 - ・道州制を実現するための税財政制度
 - ・九州が目指す姿、将来ビジョン (H21.6 公表)
- (2)住民及び国の関心を高めるためのPR戦略 (H21.6 公表)

2. 内 容

- ①九州が目指す姿、将来ビジョン
- ②今後の課題 (基礎自治体のあり方など6項目を例示)
- ③道州制導入後の九州経済の長期予測 (財)九州経済調査協会のレポートを参考として紹介)

3. 九州が目指す姿、将来ビジョン策定の基本的考え方

- ①道州制導入により制度的に可能となる施策例を提案
(国からの権限・財源の移譲 + 九州の一体化 + 国と地方の調整・県間調整不要)
- ②九州が目指す姿、将来ビジョンを、一般住民に対する道州制のPR戦略の重要な柱と位置づけ

4. キャッチフレーズ 「道州制で明日を拓く ～住みたい・来たい・はばたく九州～」

➢道州制によって九州が目指す姿	➢7つの将来ビジョン
①住民が安心と豊かさを実感できる九州	①生 活 安心できる暮らし・九州
②住民が自らの意思と責任でつくる九州	②人 材 人材と文化が育つ・九州
③東アジアの拠点として自立・繁栄する九州	③経 済 地域資源を活かして成長する・九州
④多極型構造を持ち一体的に発展する九州	④安 全 安全対策先進地域・九州
	⑤環 境 環境対策先進地域・九州
	⑥地域づくり 多極分散型圏土・九州
	⑦国 際 アジアとともに発展する九州

5. 道州制の導入が九州の経済社会に及ぼす効果

➤ 4つの政策に基づく7つの将来ビジョンの実現を通して高い成長を実現

- 政策1 九州独自の産業政策とアジア戦略
 政策2 九州の独自財源と財政効率化による財源の捻出
 政策3 九州の産業政策にマッチした重点的な科学技術振興
 政策4 生活・産業関連の社会基盤整備への重点投資



- | | |
|------------------|------------|
| 効果 ① 九州の自立的な経済成長 | ③ 人口の社会増 |
| ② 住民生活の向上 | ④ 低炭素社会の実現 |



東京一極集中型の国土構造の是正

6. 7つの将来ビジョン（分野別の基本方針）

ー住民へのPRの視点からQA形式に整理ー

1. 生活 安心できる暮らし・九州
 - Q 1－(1) 医療
 - Q 1－(2) 子育て
 - Q 1－(3) 雇用や生活のセーフティネット
 - Q 1－(4) 離島・半島・中山間地などでの雇用や生活
 - Q 1－(5) 食の安全
2. 人材 人材と文化が育つ・九州
 - Q 2－(1) 小中高教育
 - Q 2－(2) 高等教育
 - Q 2－(3) 高度な専門研究
 - Q 2－(4) 文化振興
 - Q 2－(5) 職業教育
3. 経済 地域資源を活かして成長する・九州
 - Q 3－(1) 産業政策
 - Q 3－(2) リーディング産業
 - Q 3－(3) 新産業
 - Q 3－(4) 地域産業
 - Q 3－(5) 企業誘致
4. 安全 安全対策先進地域・九州
 - Q 4－(1) 防災と危機管理
 - Q 4－(2) 治安対策
5. 環境 環境対策先進地域・九州
 - Q 5－(1) 環境対策
 - Q 5－(2) 低炭素社会
6. 地域づくり 多極分散型圏土・九州
 - Q 6－(1) 多極型の地域づくり
 - Q 6－(2) 生活圏
 - Q 6－(3) 高速通信ネットワーク
7. 国際 アジアとともに発展する・九州
 - Q 7－(1) アジアとの交流・連携
 - Q 7－(2) 訪日外国人
 - Q 7－(3) 経済交流



(1) 医療

Q いま直面するさまざまな医療問題は良くなるのですか。

A 国からの権限、財源の移譲を受け、道州が医師を積極的に養成し、地域や診療科ごとの偏在をなくすことにより、九州のどこに住んでいても一定水準の医療を受けることが可能。

例⇒医師不足解消…州立大学医学部の定員増による医師の養成、地方勤務を条件とした奨学金制度による医師の定着化、産科・小児科の診療報酬増による医師の確保、医師臨床研修の僻地勤務の義務付けによる医師の適正配置、スーパー看護師(高度実践看護師)による初期診療等の実施を通じた医師不足の補完。

例⇒広域のかつ効率的な救急医療体制の構築…道州が九州単位でドクターヘリを導入。

(2) 子育て

Q 子育て環境は改善されるのですか。

A 道州と基礎自治体が連携し、地域の実情を踏まえた弾力的・総合的な子育て施策を進めることにより、出産から育児期までの支援を一体的に行い、九州のどこに住んでいても安心して子供を生み育てる社会を実現。

例⇒地域の実情や多様なニーズに対応した子育て施設の整備…基礎自治体による保育所と幼稚園の一体的運営により、厚生労働省と文部科学省の縦割り行政を解消し、認定こども園の本来の意義を実現。

例⇒出産・育児期の経済的負担軽減のための総合的な支援…道州と基礎自治体が連携し、不妊治療費、妊娠婦検診費、乳幼児医療費、児童手当・児童扶養手当、保育料・幼稚園費等を総合支援。

(3) 雇用や生活のセーフティネット

Q 雇用や生活のセーフティネットは変わるのですか。

A 国からの権限と財源の移譲を受け、地方が雇用施策を決定。道州は基礎自治体と連携し、対象事業や雇用期間等全国一律の実施要件を緩和し機動的に財源を投入。景気や雇用情勢が悪化した場合でも地域の実情に合った効果的な対策を迅速に実行。

例⇒雇用のセーフティネット…中小企業大学校や職業能力開発施設を道州が一元管理し、地域の雇用実態に合った取り組みを推進。

例⇒社会保障のセーフティネット…失業者や高齢者世帯、疾病・障害者世帯、母子家庭等に対する生活保障と自立支援を充実するため、国・道州・基礎自治体が連携し、雇用施策(雇用保険・職業訓練・就労支援等)及び社会保障施策(生活保護・介護保険・医療保険等)を総合的に実施。

(4) 離島・半島・中山間地などでの雇用や生活

Q 離島・半島・中山間地などではますます過疎化がすすみますか。

A 道州と基礎自治体が連携し、財源の重点的な投入により、医療・福祉、交通、防災、教育、情報・通信等の生活環境を維持・向上。

例⇒農林水産業の振興…農商工連携による新商品の開発・製造・販路開拓を通じた離島・半島・中山間地等の振興。

例⇒中山間地、森林の積極的活用…道州による食糧自給率向上の一環として、耕作放棄地を復旧活用。多様な経営主体の農業への参入・雇用転換を支援。温暖化ガスの森林吸収源対策として九州の森林を一体的に整備。山間地を木質バイオマスの技術開発拠点と位置づけ、就業を促進。

(5) 食の安全

Q 食の安全は改善されるのですか。

A 県間調整が不要となり、九州が一体となった独自のブランド認証や、生産者の顔が見える流通販売システムをつくること等により、食の安全安心を一層確保。

例⇒生産から消費まで一貫した安全・安心の徹底…生産者の顔が見えるトレーサビリティの構築や九州独自の検査体制の確立により、全国水準よりも高い品質と安全性を確保。

例⇒安全・安心の仕組みづくり…九州独自の品質基準による食品のブランド認証により付加価値を向上。

(1) 小中高校教育

Q 小学校・中学校・高等学校での教育はどうなるのですか。

A 小中高校では基礎学力を重視し、地域格差が生じない教育を実施したうえで、道州の裁量と責任で九州の地域性を活かした特色のある教育を付加。

例 九州の地域性を活かした特色ある教育の実現…小中学校では、方言、中国語や韓国語、地域の歴史文化、東アジアとの交流史等の独自の教育内容を盛り込む。高校では、大学進学教育だけでなく農林水産、畜産・園芸、陶芸・木工、醸造、観光、美術・デザイン、音楽等九州の産業構造にマッチした専門人材を育成。

例 中長期的視野に立った教員の育成・確保…道州立大学の教育学部では科目・分野別の学生定員を定め、質の高い教員を安定確保。

(2) 高等教育

Q 大学での教育はどうなるのですか。

A 国立・県立大学を必要に応じて道州立大学に再編し、新たに芸術、獣医、アジア言語等の大学・学部を創設して特色ある高等教育を実践。

例 国立・県立大学の道州立大学化…道州立大学では、十分な財源が確保され、優れた大学経営がなされることにより、国際水準の研究を維持。

例 高等教育の再編成…各都市圏レベルで国立・県立大学の再編成を行い、芸術・獣医・アジア言語等の九州に不足する大学、学部を創設。これに体育・看護・福祉等の既存の専門大学を加え、九州の特長に。

(3) 高度な専門研究

Q 高度な専門研究はどのように進めていくのですか。

A 国立、県立の試験研究機関、大学の付属研究組織を必要に応じて統合・再編することにより、選択と集中による研究の高度化を実現。

例 研究機関の統合・再編…国立・県立の試験研究機関、大学の付属研究組織を九州全体の科学技術の振興等の視点から見直し、統合・再編。選択と集中に基づく研究テーマの分担、研究分野の拡充・効率化。

(4) 文化振興

Q 九州における文化の振興に大きな変化が期待できますか。

A 博物館、美術館、図書館、科学館等を九州の一体的な文化戦略のもとに運営し、九州・アジアの文化に関する資料の発掘・収集・展示等を強化。住民は地域文化だけでなく、九州・アジアの文化に深く広く接する機会が拡大。

例 九州が一体となった文化戦略の展開…博物館等から、九州・アジアの考古遺跡・神話・歴史遺産・方言・民俗・祭り・文学・工芸・美術・民謡・産業遺産・自然遺産等の資料を発掘・収集・保存・研究・発信。

例 自然資源の保存・活用・研究の強化…今まで国、県、市町村が管理してきた屋久島の原生林・ツシマヤマネコ・アマミノクロウサギ・有明海の希少生物等の九州の誇る自然資源を道州の責任で保存・活用・研究。

(5) 職業教育

Q 産業活性化と雇用の安定のための職業教育システムはどうなるのですか。

A 国や県の職業教育機関を道州に移管し、工業高等専門学校、中小企業大学校、各県の工業・農業技術研究所等を九州の職業教育システムに組み込むことにより、九州の産業政策に基づいた多様で高度な職業教育を実現。

例 産業政策に基づいた職業教育の再編・強化…九州全体の中長期的分野別の技術者養成の観点から、需要が高まるロボット・バイオ・エネルギー・環境リサイクルに関する職業教育の強化。

(1) 産業政策

Q 九州の産業の国際競争力は、道州制によって強化できるのですか。

A 道州は、現在の各省庁を横断する総合的な産業政策を実施。域内の産業連関を強め、取引、資金等の域内循環を高めることにより、九州の一体的発展を目指す。

例☞九州が一体となった産業政策…道州が各省庁を横断する産業政策を実施することにより、域内各地に産業クラスター等の戦略的な拠点を形成し、国際競争力を強化。

例☞成長する近隣アジア諸国との連携を重視した産業政策…成長する近隣アジア諸国に隣接した強みを最大限に発揮し、道州は海外の都市・地域とローカル版 FTA や EPA を締結。海外市場と九州市場を一体化させ、アジアの成長力を取り込み国際競争力を強化することにより、高い経済成長を実現。

(2) リーディング産業

Q 九州のリーディング産業は今後どのように発展するのですか。

A 税制等の大胆な優遇措置や産学官が一体となった産業クラスターの形成、現在の県域を越えた密接な連携・協力体制により、カーアイランド、シリコンアイランド、フードアイランドなどの形成を一層推進。

例☞カーアイランドの形成促進…九州が一体となった大胆な優遇措置による自動車関連企業の誘致等。

例☞シリコンアイランドの形成促進…半導体とソフトウェア・機械産業との融合によりカーエレクトロニクス、ロボット等の新市場に参入。

例☞フードアイランドの形成促進…現在の県域を越えた連携・協力に基づくリレー出荷体制、ロットの確保により、東アジア地域を市場に取り込み、日本一の食糧供給基地を目指す。

(3) 新産業

Q 新産業をどのように育成するのですか。

A 九州の戦略的な産業集積拠点を形成することにより、環境・リサイクル、新エネルギー、ロボット、バイオ関連、小型ジェット機・航空・宇宙等の新たな産業を育成。

例☞環境・リサイクル産業の育成…アジア規模の国際資源循環・環境産業拠点の形成等。

例☞新エネルギー産業の育成…太陽光・風力・バイオマス発電等新エネルギー導入率日本一を目指す。

(4) 地域産業

Q 地域産業をどのように活性化するのですか。

A 道州と基礎自治体が連携して域内の産業連関を強め、農商工連携等産業間の連携を総合的に支援することにより、観光、医療・福祉、家具・繊維等の地域産業を振興。

例☞観光産業の振興…九州観光推進機構と各自治体が一体となり広域的な国内・国際観光ルートを形成。

例☞医療福祉産業の振興…国内外の高齢者向け医療の充実や健康プログラムの構築に九州の医療機関・行政・大学・企業が一体となって取り組み、医療・福祉産業を振興。

(5) 企業誘致

Q 産業活性化のための企業誘致はどのように進めていくのですか。

A 国の企業立地等に係る権限を道州に移譲し、企業立地の窓口を道州に一本化。独自の優遇税制を創設することにより、国内外からの企業誘致を促進。

例☞九州が一体となった企業誘致…国・県・市町村にまたがっている企業立地の窓口を一本化し、各県が行ってきた企業誘致活動を道州に一元化。企業立地手続きの迅速化と企業の利便性を向上。

例☞企業の本社機能・研究開発機能の誘致…道州が独自の優遇税制を創設し、本社機能・研究開発機能を有する企業誘致を実現。国際的・地域的な競争に勝ち抜くための産業構造の転換を図る。

(4) 安 全 ・安全対策先進地域・九州

(1) 防災と危機管理

Q 自然災害などへの対応は改善されるのですか。

A 九州に防災と危機管理に関する専門組織を創設し、九州全域の危機管理体制を確立。

道州は国、基礎自治体と連携して自然災害や大規模災害、感染症対策、武力攻撃災害等の緊急事態に広域的に迅速に対応。

例⇒**危機管理の専門組織の創設**…危機管理の専門組織は、関係行政分野の指揮命令系統を一元化し、自然災害や大規模事故、武力攻撃災害等の緊急事態に広域的・迅速・一貫して対応。

例⇒**総合的・効果的な治水対策・流域管理**…複数の基礎自治体を流れる河川は道州、基礎自治体内で完結する河川はその自治体が一元管理。国との調整が不要となるため、地域の自然・まちづくり等と合致した総合的な治水対策・流域管理を行う。

(2) 治安対策

Q 九州は国境に接しており、また、住民の安全に対する意識も高まっていますが、治安対策はどのようなのですか。

A 各県が協力して行ってきた安全対策を道州に一本化。国・道州・基礎自治体・地域コミュニティ等が連携する体制をつくり、世界一安全な地域「九州」を実現。

例⇒**国境対策の強化**…国境を越えた犯罪に対して、道州と国の入国管理局・税関・検疫等が緊密に連携する体制をつくり、危機発生時に迅速に対応。

例⇒**広域化・組織化する犯罪への対応**…現在の県境を越えて警察の管轄区域を再編。道州・基礎自治体・地域コミュニティ等が協力して犯罪防止のための総合的な対策を講じる。

(5) 環 境 ・環境対策先進地域・九州

(1) 環境対策

Q 九州の環境対策はどのようなのですか。

A 九州が一体となった総合的・広域的な環境対策を実施。国・道州・基礎自治体がそれぞれの役割に基づいて環境対策に取り組み、相互の連携を強化して「環境対策先進地域・九州」を実現。これにより、多様性に富んだ世界に誇る自然の宝庫である九州を守り、活かし、日本一美しい九州を目指す。

例⇒**広域的な産業廃棄物対策**…九州全体を見通した統一戦略に基づき、各県域を越えた広域的な連携・協力によって課題を解決。

例⇒**国境を越えた環境対策**…九州の持つ公害克服の経験や環境保全技術の蓄積を活かし、道州が東アジアの一体的環境保全のための技術移転や人材育成、環境ビジネス等に取り組み、国境を越えた環境対策に貢献。

(2) 低炭素社会

Q 低炭素社会の実現に向けた取り組みは進むのですか。

A これまでの県単位での温暖化ガス排出削減の限界を克服するため、道州が九州の広域的な統一戦略に基づいて低炭素社会の実現に効率的に取り組み「環境対策先進地域・九州」を実現。

例⇒**排出権取引制度と九州環境税の導入**…九州全体を見通した環境戦略に基づき、道州がセクター別地球温暖化ガス削減目標の設定や排出権取引制度を導入。また、九州独自の環境税を導入し、太陽光等の自然エネルギー導入支援等に集中的に取り組むこと等により、「環境対策先進地域・九州」を実現。

例⇒**環境産業の育成による低炭素社会の実現とさらなる経済発展の両立**…道州が環境産業を九州の中核産業と位置づけ積極的に企業を誘致。九州統一の「エコ認証制度」の創設や大胆な技術開発支援を行う。

(1) 多極型の地域づくり

Q 道州制になると、特定都市への集中は進みませんか。

A 九州域内に適度に分散する都市圏とその周辺の生活圏、離島・中山間地等がその個性を生かした機能分担を行い、相互の結びつきを強化することにより、特定都市への集中を抑え、バランスの取れた九州の国土づくりを行う。

例⇒九州の基幹都市圏間の幹線道路のネットワークの整備…基幹都市圏間の交流・連携を促進し、域内循環を活性化させる幹線道路ネットワークを整備するため、道州が広域的観点から優先順位を決めて短期間に集中的に幹線道路への投資を行い、整備コストの縮減と効果の早期発現を図る。

例⇒九州新幹線の全線開通及び地域鉄道の利便性の向上…道州が新幹線網の整備を推進。また、在来線の高速化・多頻度化、地域鉄道の存続・再生支援について、道州・基礎自治体・民間が一体的に取り組むことにより、地域住民の暮らしや経済活動の利便性を向上。

(2) 生活圏

Q 都市とその周辺地域、離島・半島・中山間地域などの生活環境は改善されますか。

A 権限・財源の移譲により、生活に密着した政策は基礎自治体が決定。基礎自治体は必要に応じて近隣の基礎自治体や道州と連携し、医療・福祉・教育・芸術・文化・スポーツ等のサービスを地域特性に合わせて中心都市から周辺地域に提供・波及することにより、都市と自然が一体となった圏域を九州全体に整備。

例⇒高次都市機能の充実・強化…現在の県庁所在市や政令市等の基幹・拠点都市圏と周辺地域の連携・機能分担により、都市圏に医療・国際交流・文化・商業・大学等の高次機能施設の集積が進み、都市機能を充実・強化。機能集積効果としての都市の税収増分は機能分担した周辺地域と分け合う仕組みを創設。

例⇒都市周辺や離島・半島・中山間地などにおける多彩なライフスタイルの実現…基礎自治体を中心となって、生活の基礎となる農林水産業等の産業活動を支える取り組みを推進。都市圏からの移住や一時居住等に係る制度を充実させ多彩なライフスタイルを実現。

(3) 高速通信ネットワーク

Q 高速通信ネットワークは離島や中山間地などでも整備されるのですか。

A 通信設備の整備は、採算面で民間企業が進出できない地域を道州が支援することにより、九州全域で高速通信ネットワークを整備。

例⇒地理的条件の厳しい地域への高速通信ネットワークの整備…情報通信格差が生じないように道州が民間企業と連携して高速通信ネットワークを整備。

例⇒電子行政の実現…道州・基礎自治体・国が連携し、九州全域の行政機関のネットワーク化と行政手続きの電子化を推進。

(1) アジアとの交流・連携

Q アジアとの国際交流は、一層活発になるのですか。

A 道州と基礎自治体、道州立大学等が九州の統一した国際交流戦略を実行。九州に住む外国人のライフスタイル・文化の理解を深め、外国人が暮らしやすい地域づくりを進めることにより相互の交流や定住を促進。

例⇒住民の国際理解の向上…義務教育の段階から中国語や韓国語等のアジアの言語教育を選択可能とし、九州独自の国際教育を道州の責任で実施。

例⇒留学生をはじめとした海外人材が定着できる環境づくり…大学を中心として、留学生の在学中のインターンシップの紹介や卒業後の就労を組織的に支援。また、道州と基礎自治体、大学が協力して、介護・製造業・農業等の分野の訓練制度を創設。外国人が九州で訓練を受け、九州内での就労や母国の日系企業に就職する機会を提供。

(2) 訪日外国人

Q 道州制は、九州を訪れる外国人を増やすことに有利なのですか。

A 道州政府、道州立文化施設、道州立大学、基礎自治体等が一体となって、訪日外国人を増やす政策を推進。九州の歴史・芸術文化・観光地等に関する情報を発信し、九州の魅力をより有効にアピールすることにより、多くの外国人の九州訪問を実現。

例⇒インバウンド(訪日外国人観光客)の誘致…道州が外国人旅行者の利便性を図るために、九州内の鉄道やバス会社と協力し、外国人だけを対象とする九州全域の割安周遊券や外国人専用パスカードを導入。

(3) 経済交流

Q アジア諸地域と九州の独自の経済交流はさらに進むのですか。

A 道州が海外の都市等とローカル版EPA等を締結し、アジアと九州の市場を一体化。

また、九州の空港・重要港湾・高速道路等を一体的に整備運営することにより、九州が東アジアの拠点として自立繁栄することを目指す。

例⇒対アジア戦略の策定…各県、市、国の出先機関がそれぞれ独自に進めてきた対アジア戦略を道州に統合し、それぞれの蓄積を九州全体の資産として活用。各県の海外事務所は再編・統合し対アジア戦略の窓口として一本化。

例⇒シームレスで国際的な物流・人流の基盤整備…空港・港湾・高速道路を道州が一体的に整備・管理。シームレスで国際的な人流・物流の基盤を整備し、効率的に経営。

例⇒国際競争力のある空港・港湾整備…道州の裁量で、空港・重要港湾の着陸料や施設利用料を国際水準に引下げ、国との連携による通関・検疫等の港湾荷役手続きの迅速化、IT化による積荷管理等を実現することにより、国際競争力のある空港・港湾を整備。

【道州制の4つの意義】

- (1) 分権性 国から地方への権限・財源の移譲、国の規制からの解放による地方分権社会の確立
 (2) 近接性 都道府県から基礎自治体への権限・財源の移譲による住民に身近な自治体の創設
 (3) 一体性 県境の撤廃及び県間調整が不要になることによる圏域一体の地域づくり
 (4) 効率性 国と地方の二重行政、縦割り行政の解消

意 義 ビジョン	(1) 分権性 ➢ 国から地方への権限・財源の移譲	(2) 近接性 ➢ 都道府県から基礎自治体への権限・財源の移譲	(3) 一体性 ➢ 県境の撤廃及び県間調整が不要	(4) 効率性 ➢ 国と地方の二重行政、縦割り行政の解消
(1) 生 活 安心できる暮らし・九州	◎	◎	○	△
(2) 人 材 人材と文化が育つ・九州	◎	○	◎	○
(3) 経 済 地域資源を活かして成長する・九州	○	△	◎	◎
(4) 安 全 安全対策先進地域・九州	○	△	◎	○
(5) 環 境 環境対策先進地域・九州	○	○	◎	△
(6) 地域づくり 多極分散型圏土・九州	○	◎	◎	△
(7) 国 際 アジアとともに発展する・九州	◎	△	◎	○

◎特に関係が深いもの ○関係が深いもの △関係がそれほど深くないもの

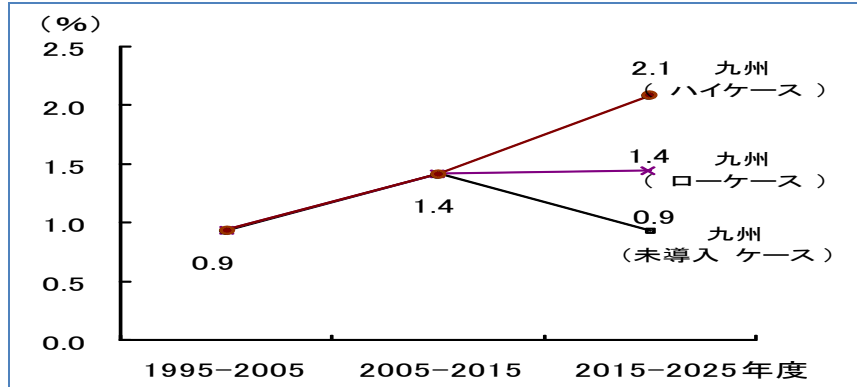
9. 今後の課題

- (1) 基礎自治体のあり方 ➢ 小規模自治体の行政サービス提供のあり方
 ➢ 基礎自治体の議会のあり方
 ➢ 政令市等大都市制度と道州制との整合性
- (2) 道州の組織のあり方 ➢ 組織の具体的なイメージ
 ➢ 求められる機能
 ➢ 人材登用のあり方
 ➢ 現行組織からの移行形態
 ➢ 立地
- (3) 社会保障分野の役割分担 ➢ 医療保険等
- (4) 税財政制度のあり方 ➢ 今後増大する社会保障費を賄うための安定財源のあり方等
- (5) 国の長期債務の取扱い ➢ 国の資産を地方に移譲するに当たり、その資産形成のために用いられた国の長期債務の処理
- (6) 道州制導入に伴う懸念への取り組み ➢ 県単位で事業を展開している企業の問題等

道州制導入後の九州経済の長期予測

財団法人九州経済調査協会「2025年の九州経済 ～道州制導入後の九州経済の長期予測～」2008年5月より

経済成長率の比較



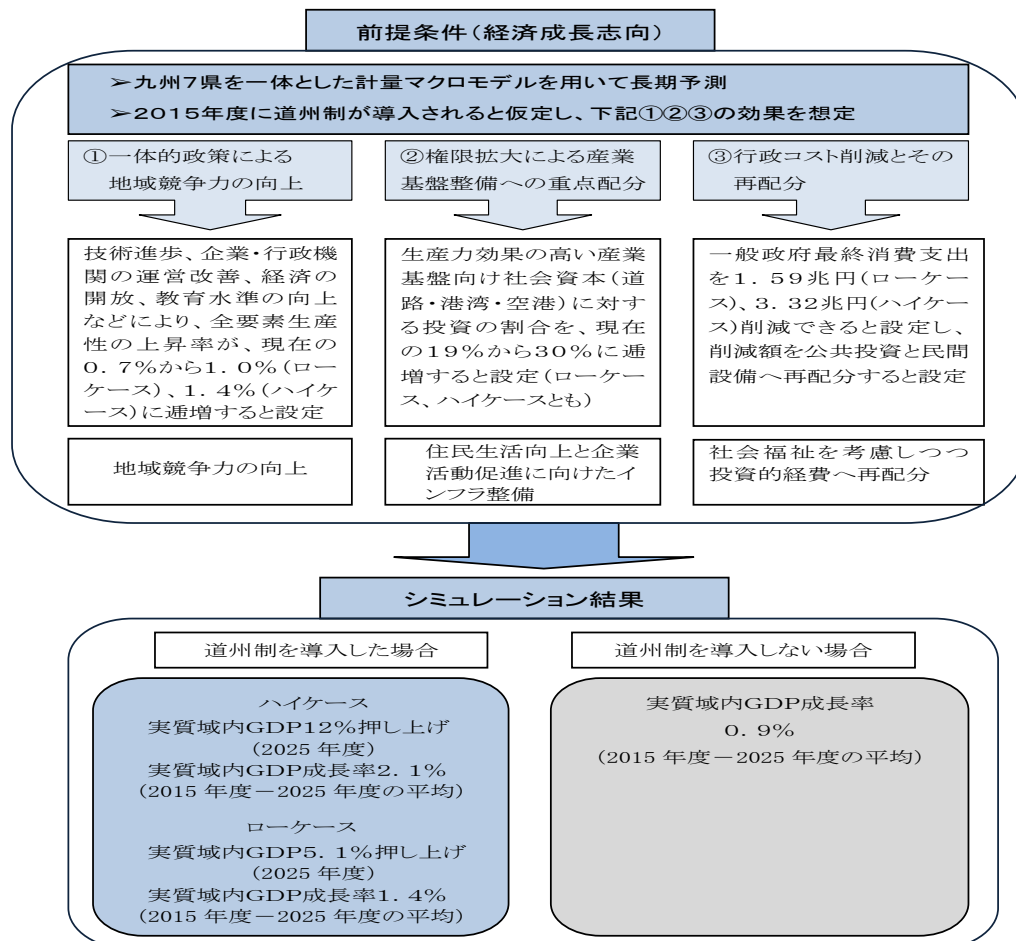
注) 年度平均実質経済成長率

※想定値は、積極的に道州制導入を進めたハイケース、やや積極的に道州制を進めたローケース、未導入ケースの3ケースごとに設定。

※道州制導入年次を2015年度と仮定して、導入後2025年度までの九州経済を予測。

※長期予測という制約上、2005年度以降の成長率は過去のデータから算出された推計値を用いているため、世界同時不況下にある直近の経済状況はこの長期予測に反映されていない。

長期予測の概念図



九州地方知事会				(社)九州経済連合会			
会 長	金子 原二郎	(長崎県知事)		会 長	松尾 新吾	(九州電力(株)会長)	
副会長	古川 康	(佐賀県知事)		副会長	大野 芳雄	(株)鹿児島銀行会長)	
	麻生 渡	(福岡県知事)		"	指山 弘養	(株)佐賀銀行会長)	
	蒲島 郁夫	(熊本県知事)		"	田中 浩二	(九州旅客鉄道(株)相談役)	
	広瀬 勝貞	(大分県知事)		"	福田 浩一	(株)山口銀行頭取)	
	東国原 英夫	(宮崎県知事)		"	小栗 宏夫	(株)肥後銀行頭取)	
	伊藤 祐一郎	(鹿児島県知事)		"	木瀬 照雄	(T O T O(株)会長)	
	仲井眞 弘多	(沖縄県知事)		"	谷 正明	(株)福岡銀行頭取)	
	二井 関成	(山口県知事)		"	佐藤 勇夫	(株)宮崎銀行会長)	
				"	高橋 靖周	(株)大分銀行会長)	
				"	當眞 嗣吉	(沖縄電力(株)会長)	
				"	渡辺 顯好	(トヨタ自動車九州(株)会長)	
				"	長尾 亜夫	(西日本鉄道(株)会長)	
				"	宮脇 政俊	(株)十八銀行頭取)	
				"	明賀 孝仁	(新日本製鐵(株)執行役員八幡製鐵所長)	
				九州商工会議所連合会			
				会 長	河部 浩幸	(株)九電工会長)	
				九州経済同友会			
				代表委員	石原 進	(九州旅客鉄道(株)社長)	
				"	佐藤 勇夫	(株)宮崎銀行会長)	
				九州経営者協会			
				会 長	長尾 亜夫	(西日本鉄道(株)会長)	

顧問・ゲスト

	氏 名	役 職・所属団体
顧 問	古川貞二郎	元内閣官房副長官
顧 問	広瀬 勝貞	大分県知事
顧 問	古川 康	佐賀県知事
顧 問	伊藤祐一郎	鹿児島県知事
顧 問	林 宜嗣	関西学院大学教授
ゲスト		九州市長会など

委 員

	氏 名	役 職・所属団体
委 員 長	矢田 俊文	北九州市立大学学長
副委員長	芦塚日出美	九州経済同友会 福岡経済同友会代表幹事
副委員長	田中桂之助	九州地方知事会 長崎県知事公室長
委 員	横尾 俊彦	佐賀県多久市長
委 員	山野 謙	九州地方知事会 福岡県総務部長
委 員	中野哲太郎	九州地方知事会 佐賀県統括本部長
委 員	安倍 康雄	九州地方知事会 熊本県総合政策局長
委 員	佐藤 健	九州地方知事会 大分県総務部長
委 員	高山 幹夫	九州地方知事会 宮崎県県民政策部長
委 員	六反 省一	九州地方知事会 鹿児島県企画部長
委 員	大野 芳雄	九州経済連合会 副会長
委 員	本田 正寛	九州経済連合会 理事
委 員	惣福脇 亨	九州経済連合会 専務理事
委 員	亀井創太郎	九州経済同友会 熊本経済同友会副代表幹事
委 員	川崎 裕一	九州経済同友会 大分経済同友会常任幹事
委 員	松藤 悟	九州商工会議所連合会 副会長
委 員	後藤 誠	九州経営者協会 理事
事務局	坂梨 正雄	九州経済連合会 常務理事

✕

毛